

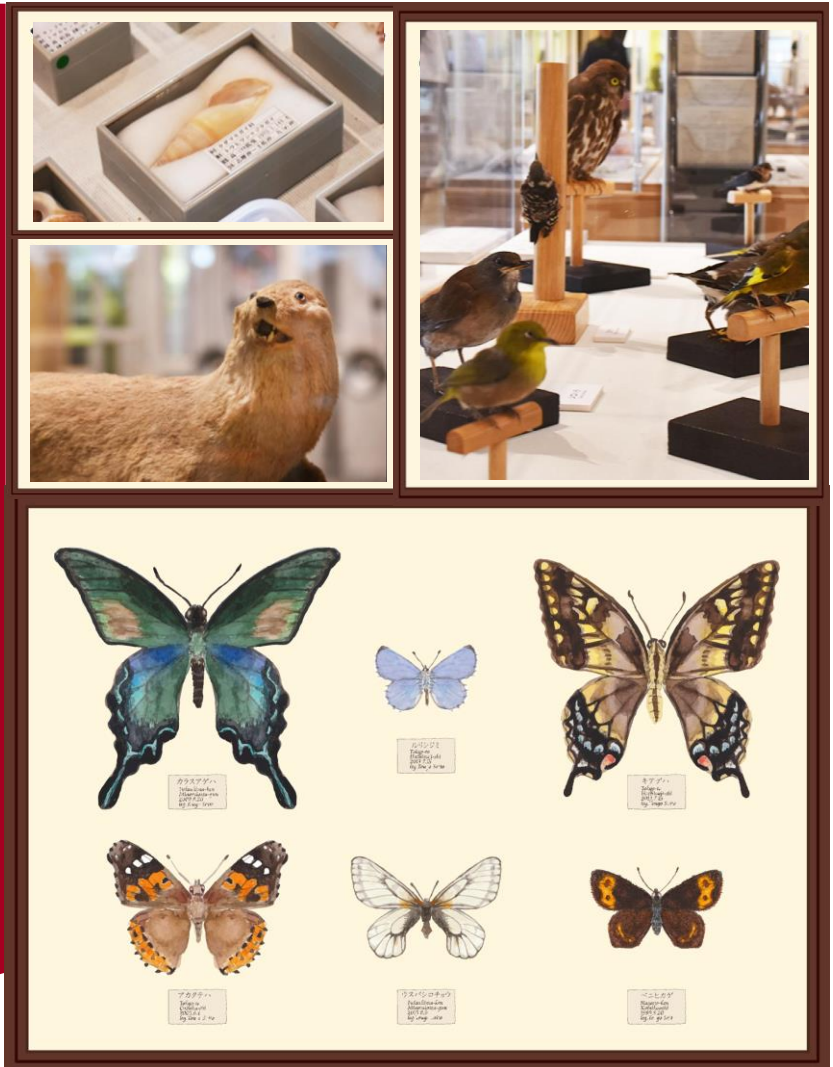
# 生物標本の 収蔵問題を考える ～国内の先進事例を参考に～

令和6年2月20日(火) 13時～16時半

場所 オーテピア4階研修室・集会室(研究会)  
高知県高知市追手筋2-1-1

令和6年2月21日(水) 10時～11時半

場所 高知県立牧野植物園(見学会)  
高知県高知市五台山4200-6



高知県をはじめ全国各地の生物資料収蔵場所の不足が顕著となっており、用途目的を異にする廃校等が保管場所にあてられる事例が多くみられる。

そうした現状を踏まえ、資料本来が、適切な環境の下にあるべき施設や管理体制などの検証を通して、現在置かれている県内外の自然系博物館の現状と課題を参加者と共有し、今後の自然系資料の保管や活用のあり方について議論し、展望を開く。

■対象 本学会員及び博物館に関係する学芸員、行政職員、研究者、自然や生物に興味がある一般市民

## ■参加費

講演、シンポジウムは無料。

牧野植物園見学会は  
入場料 730 円が必要です。

## ■申込方法

Google formsにて受付

<https://forms.gle/QdxuiHVbHDDaReiLH7>

※ 2 日目のみの参加も可能です。

■申込締切 2月14日(水)まで

■問い合わせ先 [zenpakugyoji@gmail.com](mailto:zenpakugyoji@gmail.com)

(全日本博物館学会 行事担当)

申込フォーム



■主催：全日本博物館学会 ■共催：こうちミュージアムネットワーク 高知みらい科学館

■後援：高知県・高知県教育委員会、高知市・高知市教育委員会

## スケジュール

### 2月20日(火)

- ・12:30 開場・受付
- ・13:00-13:10 開会  
趣旨説明 高橋 信裕 (高知みらい科学館)
- ・13:10-14:10 基調講演 「栃木県立博物館の新収蔵庫棟建設に至る歩み」  
講師 林 光武氏 (元栃木県立博物館)
- ・14:10-14:20 質疑応答
- ・14:20-15:05 シンポジウム  
タイトル「これからの生物標本の保管・管理・活用を考える」
  - ①「高知県における自然史標本の現状」演者 谷地森 秀二氏 (こうちミュージアムネットワーク)
  - ②「高知県立牧野植物園における生物標本の現状と課題」演者 藤川 和美氏 (牧野植物園)
  - ③「徳島県立博物館における資料収集・保存の現状」演者 長谷川 賢二氏 (徳島県立博物館)
- ・15:10 休憩・会場設定
- ・15:25-16:25 意見交換  
進行 岡田 直樹 (高知みらい科学館)  
登壇 林 光武氏・谷地森 秀二氏・藤川 和美氏・長谷川 賢二氏
- ・16:25 閉会挨拶 筒井 秀一氏 (こうちミュージアムネットワーク)
- ・16:35 閉会
- ・17:30 情報交換会 (会費制 2 時間)

### 2月21日(水)

- 10:00-11:30 高知県立牧野植物園収蔵庫見学  
※現地集合・現地解散です。

## アクセス

見学会参加ご希望のお申し込みの方には、アクセス情報の詳細をお届けいたします。

オーテピアへのアクセス

[https://otepia.kochi.jp/  
access.html](https://otepia.kochi.jp/access.html)



牧野植物園へのアクセス

[https://www.makino.or.jp/  
guide/](https://www.makino.or.jp/guide/)

